令和4年4月28日(木) 国土交通省関東地方整備局 日 光 砂 防 事 務 所

記 者 発 表 資 料

いなりがわ じょうりゅう さんぷくこう こうじ

「R4稲荷川上流山腹工工事」において、「見積活用方式」、

「日光砂防現場技術力認定」、「日光砂防現場技術力認定評価対象工事」、

「地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更」の試行、

「難工事指定」、「余裕期間制度の活用」を採用します。

今回発注する「R4稲荷川上流山腹工工事」(令和4年4月28日公告)では、より多くの企業に参加していただきたく、以下の取り組みを試行しておりますので、ご紹介します。

〇日光砂防現場技術力認定評価対象工事

過去に受注した「日光砂防現場技術力認定」の試行工事において認定を受けている場合、本発注工事の総合評価の評価項目において加点対象とする「日光砂防現場技術力認定評価対象工事(試行)」を採用します。

〇日光砂防現場技術力認定

本工事は、工事を適切に完成させ認定証の交付を受けた場合、その後の発注工事において総合評価項目「日光砂防現場技術力認定評価対象工事(試行)」を加点対象とする<u>「日光砂防現場技術力認定」を採用</u>します。 https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/nikko 00000120.html

- 〇見積活用方式
- ○地域外からの労働差確保に要する間接費の設計変更
- 〇難工事指定
- ○余裕期間制度の活用(フレックス方式)

(詳細は別添の不調不落対策を参照して下さい。)

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、栃木県政記者クラブ、日光記者クラブ

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 日光砂防事務所 電話0288-54-1191(代表)

副所長 一場 敏 (いちば さとし) 工務課長 小池 利章(こいけとしあき)

《不調•不落対策》

〇日光砂防現場技術力認定評価対象工事

過去に受注した「日光砂防現場技術力認定」の試行工事において認定を受けている場合、<u>本発注</u> 工事の総合評価の評価項目において加点対象とします。

〇日光砂防現場技術力認定

良質な社会インフラの整備を行うため、砂防現場の中でも厳しい現場条件を克服し、適切で確実 な施工を行った現場技術力を有する企業と技術者を認定する制度を創設しました。

本工事は、日光砂防事務所管内における極めて厳しい現場条件を有する工事を「日光砂防現場技術力認定工事」(以下「認定工事」という)として指定を行い、工事を適切に完成させ認定証の交付を受けた場合にその後の発注工事において総合評価項目「日光砂防現場技術力認定評価対象工事(試行)」を加点対象とする「日光砂防現場技術力認定」を採用します。

〇地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更について

「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用に ついて、妥当性を確認のうえ設計変更の対象とします。

営 繕 費:労働者送迎費、宿泊費、借上費

労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事・通勤等に要する費用

構成費目		率分に含まれる主な項目
営繕費	借上費	建物を建築する代わりに貸しビル、マンション、民家等を長期借上げした場合に要した費用
	宿泊費	労働者が、旅館・ホテル等に宿泊した場合に要した費用
	労働者送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送するために要した 費用
現場管理費	労務管理費	募集・解散費、賃金以外の食事・通勤等に要する費用

〇見積活用方式

• 見積の提出を求める工種

直接工事費のうち「資材運搬設備工」「人員輸送工」

・ 見積を求める理由

本工事の施工箇所においては、急峻な山岳地形での高所施工とならなければならず、作業効率の低下に伴い、施工にあたって標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者からの見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

〇難工事指定

本工事は、急峻な山岳地形での高所施工となることから厳しい施工条件であるため、「<u>業工事指定</u>」を採用します。「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事(試行)」の<u>総合評価の評価項目において加点対象</u>となります。加点対象となる期間は、審査基準日の月以前の1年間に元請けとして、完成・引き渡しが完了した施工実績が加点対象となります。

また、主任(監理)技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間を評価対象となります。

○余裕期間制度の活用(フレックス方式)

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和6年6月30日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《工事概要》

(1) 工事名:R4稲荷川上流山腹工工事

(2) 工事場所:栃木県日光市赤那岐地先

(3)全体工期:契約締結の翌日から令和6年6月30日まで

〈余裕期間制度(フレックス方式)〉

(4)入札方式:一般競争入札方式

総合評価落札方式「施工能力評価型Ⅱ型」「地域密着型」

(5) 工事種別:法面処理工事

(6) 工事内容(概要):斜面対策 1式

砂防土工 1式

法面整形 約1,200m2

※見積活用対象項目 法面工 1式

植生基材吹付工 約1,000m2 モルタル吹付工 約 200m2

法枠工 約1,300m

仮設工(ケーブルクレーン、モノレール)1式※

仮設工(工事用道路) 1式

《スケジュール》

入札公告、入札説明書交付:令和4年 4月28日(木)競争参加確認申請書、見積書提出期限:令和4年 5月20日(金)入札書・工事費内訳書提出期限:令和4年 6月10日(金)開札:令和4年 6月15日(水)





工事名 : R4稲荷川上流山腹工工事

工種単位数	*L =		令和4年度												令和5年度											令和6年度			/++ -1 /	
工種	単位	剱 重	4月	5月	6月 7	7月	8月	9月	10月	115	月12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	備考
準備	式	1					200 S																							·30日間 (中間年度:10日間)
仮設工	式	1				i !	200 200 200 200 200 200 200 200 200 200																							・1パーティ・設置、撤去
砂防土工 (法面整形)	式	1				Ⅰ 任意で	裕																							・1パーティ
法面工 (法枠工)	式	1				設定可能	期間																							・1パーティ
法面工 (植生基材吹付)	式	1				·能 I																								・1パーティ
後片付け	式	1					200 200 200 200 200 200 200 200 200 200																							·20日間 (中間年度:15日間)
制約夏期休暇条件		_																												·8月中旬
制約 冬期現場閉鎖期間 件		_																												·12月下旬~3月

<関係機関協議>

工事着手にあたっての関係機関協議、地元説明は、発注者が主体となって実施します。

本工事は、受注者の円滑な工事施行体制の確保を図るため、事前に建築資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者があらかじめ設定した全体工期(余裕期間と工期を合わせた期間)の内で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間は、監理技術者等の配置が不要となります。

<余裕期間制度(フレックス)の活用について>